

第46回県下少年柔道大会 実施要項

- 1 主催 公益財団法人鹿児島県柔道会
- 2 期 日 令和元年12月15日(日)
 - ※ 計量 9時00分～
 - ※ 審判・監督会議 9時30分
 - ※ 開会式 10時00分
- 3 会 場 鹿児島アリーナ武道場
- 4 参加資格
 - (1) 選手は出場の意思が明確であり、保護者の承諾を得ていること。
 - (2) 選手は、小学4年生以上で、健康かつ柔道の経験が1年以上であること。
 - (3) 選手は、令和元年度全日本柔道連盟に競技者登録を、引率する監督は、指導者登録をしていること。
 - (4) 選手は、「スポーツ安全保険」等に加入していること。
- 5 チーム編成
 - (1) チームは、原則として少年団単位とし、2チームまで編成できる。監督1名、選手5名、補欠2名とする。
 - (2) チームの選手の配列は、①低学年から高学年の順とする。②同学年内は体重の軽い者から順に配列する。
 - (3) 先鋒および次鋒は、4・5年生とし、中堅・副将および大将は、5・6年生とする。ただし、下学年の児童が、上学年の児童の位置で出場することはできる。
 - (4) 選手の配列は、試合ごとに変更できない。選手と補欠の入れ替えは、認めるが5(2)に基づいて配列すること。
 - (5) 選手4名以下の場合は、後詰めとする。
 - (6) 一度退いた者は、出場できない。
- 6 試合方法
 - (1) 試合はリンク・トーナメント方式とし、予選リンクで2勝したチームが、決勝トーナメントに進出する。リンク戦・トーナメント戦における勝ちチームの決定は、次の順による。
 - ア 勝ち点による。
 - イ 勝ち点が同等のときは、内容による。
 - ウ 内容も同等のときは、代表戦で勝敗を決する。※ 代表戦については7競技規則(3)によって行う。
 - (2) 第3位決定戦は、行わない。
- 7 競技規則
 - (1) 国際柔道連盟試合審判規定及び国内における少年大会特別規定による。
 - (2) 試合時間は、3分間とする。
 - (3) 「優勢勝ち」の判定基準は「技有」又は「指導2差」以上とする。代表戦は、引き分けの試合の中から抽選で1試合を選び、ゴールデンスコアで決する。ただし、本規則に定められていない事態が生じた場合は、対戦者の中から抽選で1試合を選びゴールデンスコアで決する。
 - (4) 逆背負投は禁止とし、かけた場合は「反則負け」とする。
- 8 組み合わせ 主催者で決定する。
- 9 表 彰 第1位から第3位までを表彰する。
- 10 参加申込み
 - 令和元年10月30日(水)必着で、郵送及びメールの両方で必ず申し込みすること。
 - ※詳しくは、大会申し込み要項を確認すること。
- 11 参加料 1チーム5,000円(大会当日、受付で納入する)
- 12 その他
 - (1) 脳震盪対応について
 - ア 大会前1ヶ月以内に脳震盪を受傷した者は、脳神経外科の診療を受け、出場の許可を得る。
 - イ 大会中、脳震盪を受傷した者は、継続して当該大会に出場することは不可とする。
 - (2) 皮膚真菌症(トングランス感染症)について、発症の有無を各所属の責任において必ず確認すること。感染が疑わしい、もしくは感染が判明した選手については、迅速に医療関係において、的確な治療を行うこと。選手に皮膚真菌症の感染が発覚した場合は、大会への出場が出来ない場合もある。
 - (3) 試合による負傷については、試合場での応急処置のみとする。
 - (4) 選手は、所定のゼッケンをしっかり縫いつけること。
 - (5) 当日は、駐車場の混雑が予想されるので、できるだけ公共交通機関を利用すること。
 - (6) 2チーム出場の団体は、申込書をコピーしてください。
 - (7) 個人で靴を管理するために、各自ビニール袋を準備すること。